

冬

ごころ

題字：佐藤栄一

HANAGOCORO

— 宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会だより —

2022 Vol.43

冬号

WINTER

つくし

特集 スケルトンリーフを作ってみよう～葉脈標本作り体験記～

ちょいグリーン

花と緑のフェスティバルうつのみや2021

～夢いっぱい 花いっぱい 咲けば愉快だ宇都宮～

発行：宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5 (宇都宮市都市整備部景観みどり課内)
花緑協議会ホームページURL <http://www.utsunomiya-hanamidori.jp>





スケルトンリーフを作ってみよう ～葉脈標本作り体験記～

雑貨屋さんなどで見かけるスケルトンリーフ、別名葉脈標本。植物の葉っぱの葉肉を薬剤などを使って落とし、葉脈だけを残したレースのような葉っぱです。スケルトンリーフは身近な材料で作ることができます。作り方を調べて、スケルトンリーフ作りにチャレンジしてみました。



使用した材料や道具

- ・葉っぱ（ヒラギモクセイ・ユーカリ・ナンテンの葉）
- ・重曹 ・お鍋 ・使い古しの歯ブラシ ・菜箸



作り方

※作り方は、インターネットに掲載されている記事を参考にしました。
火や薬剤等を使用しますので、チャレンジする場合は、十分に注意してください。

1. お鍋で沸騰させたお湯に重曹を入れ、汚れを落とした葉っぱを入れて柔らかくなるまで弱火で煮ます。



葉っぱが浮き上がってくるので、時々菜箸で沈めてあげました。蒸発が早いので、重曹水を足しました。お茶の香りがしてきました、お茶を作っている気分でした。



2. 葉っぱが黒く変色し、柔らかくなったら流水で葉っぱをやさしく洗います。



葉っぱの種類によって柔らかくなるまでの時間が異なりますので、時々葉っぱを取り出して、触って確認しました。ユーカリとナンテンは約1時間、ヒラギモクセイは約2時間で柔らかくなりました。



3. 歯ブラシを使って葉肉を落としていきます。



力加減や、葉っぱを擦る方向がポイントになりますが、難しかったです。流水で葉っぱを洗っている時点で葉肉が取れてきましたので、ズボラな作者は歯ブラシを使わずに流水で指先を使って全ての葉肉を落としました。



4. できあがりしました★ 白くしたかったので台所用の漂白剤につけて白くしました。



♡スケルトンリーフ作りは時間と手間がかかりましたが、植物の体の中で水や栄養の通り道となっている葉脈を見ることができ、植物の神秘が感じられる機会となりました。



まちの素敵な 緑のスポット

ちょいグリーン

皆さまからの情報をお待ちしております。情報は事務局まで！



エントランス

エントランスには野バラが伸びているパーゴラや6年物のラベンダー、30年以上咲き続けている赤いバラなどがあり、私たちを華やかに迎えてくれます。パーゴラをくぐり広いお庭に足を踏み入ると、小さなコスモスや青・紫・ピンクのお花を咲かせる紫陽花、キク、2階の屋根に届きそうなほど大きな樹形の美しいジュンベリー、様々な種類のバラなどが育てられており、冬のお庭づくりに向けてパンジーやビオラも植栽されていました。



今回はご夫婦で経営され、36年目を迎える江曾島町にあるレストラン「ラプレ・ミディ」をご紹介します。

日ごろからお庭づくりをされている奥様にお話を伺いました。



30年以上咲き続けるバラ



コスモス

「お店を綺麗に保っていたい」と語る奥様。そんな奥様は宿根草でも枯れたらお花を抜き、10種類ほどあるバラも月1回必ず消毒をしているとのこと。

お店には老若男女さまざまなお客様が沢山訪れますが、お花が好きなお客様が来店された際には、お花の種類について聞かれたり、「挿し芽をしたい」と声をかけられることが多く、奥様が差し上げたラベンダーでラベンダースティックを作られた方もいたそうです。



洋風な店内に入ると、陽の光を浴びて美しく輝くステンドグラスが印象的で、他にも小瓶や黒電話、レース編みなどアンティークな小物が沢山飾られています。

また、奥様のお姉様が作られた「押し花アート」も飾られており、自然の美しさをそのまま残しておける押し花は、一つ一つ丁寧に作られ、まるで絵本の中の絵のようでした。

レストランとしては、メインが毎日変わる限定20食の日替わりプレートが人気とのこと。テラス席もあり、四季折々に移り変わるお花を眺めながら、ワンちゃんと一緒に食事を楽しむことができます。



押し花アート



6月のお庭

コロナ禍ではありますが、感染対策がされており、お花と食事をどちらも楽しめるレストランに足を運んでみてはいかがでしょうか。

取材協力

「ラプレ・ミディ」

栃木県宇都宮市江曾島町1028-10

営業時間：11:00~15:00 (LO 14:00)

17:00~21:00 (LO 20:00)

定休日：月曜日

T E L : 028-659-3590

花と緑のフェスティバル

夢いっぱい 花いっぱい 咲けば愉快だ宇都宮

ロゴデザイン：宇都宮メディア・アーツ専門学校 ビジュアルデザイン科 2021卒業 なかやま ゆい 中山 祐依さん

活動報告

今年度は初めて、市民参加型イベントとして、素敵なガーデンとこれらをつなぐフラワーロードを巡る「花と緑のウォークラリー」と、SNS等で参加できる「Myガーデンコンテスト」を実施しました。

花と緑のウォークラリー 10月1日～17日開催

花壇づくりのスペシャリストたちが、まちなかにチェックポイントとして素敵なガーデンを3箇所(宇都宮城址公園、宇都宮市役所北側バス停横、まちかど広場)作製しました。

宇都宮城址公園のガーデンは、アリスのティーパーティーをテーマに、メランポジュムやケイトウ、プレクトランサスなど秋のお花で彩られ、球根ペゴニアで作られたフラワーシャンデリアは、離れていても目立ち、歩く人たちが立ち止まるほど豪華なものでした。また、小さな子どもたちも興味津々で楽しんでいたり、設置しているイスに子どもを座らせて写真を撮っているご家族もいました。
(ガーデン作製協力：有限会社とちぎ園芸)



宇都宮市役所北側バス停横のガーデンは、コリウスやチョコレートコスモス、オリーブなど数十種類以上の植物やお花で彩られ、砂利を敷いて道を作ったり、イスを設置するなどおしゃれなお庭にいるような空間でした。バス停の横にガーデンを作製したこともあり、バスを待っている人たちが退屈せずに、お花を眺めていたり、写真を撮っている方もいました。

また、コンテナガーデンを10基設置し、様々なテーマや装飾を施したことで、より一層華やかなチェックポイントとなりました。

(ガーデン作製協力：Gardenうさぎ 代表 小原みどり コンテナガーデン作製協力：小原さんのご友人)



まちかど広場に設置したのは、ハーブをメインとした通るだけでもハーブのとてもいい香りが漂うガーデンです。キッチン&ティーハーブガーデンとメディカルハーブガーデンの2つのエリアとその間にはストローイングハーブのエリアがあります。ストローイングハーブとは、ハーブなど香りのある植物を床に敷いて踏むことで香りを出し、消臭・抗菌・防虫などに利用することだそうです。踏むことでよりハーブの香りが楽しめて癒し効果がとてもあるガーデンでした。

(ガーデン作製協力：マロニエハーブスクール & JHS栃木支部)

スポーツの秋、文化の秋…、花いっばいに彩られたまちなかを歩いて秋を感じられたでしょうか？参加者の皆さま、ご参加ありがとうございました(´▽`)

My ガーデンコンテスト 9月1日～10月31日開催

自身で花いっばいに彩ったガーデンや庭先の寄せ植えの写真を募集しました▶▷☑

応募作品・受賞作品は、協議会ホームページやInstagram、Facebookに投稿していますので、素敵なガーデンをぜひご覧ください☺

沢山のご応募ありがとうございました♡



松吉先生の 第2回テーマ クレマチス

園芸インフォメーション

“花は生活に潤いを & 心に癒しをもたらす”

今回は“クレマチス”です。今は時季外れですが、私の庭では5月頃を中心に毎年咲いてくれます。古くから親しまれているガーデンプランツの一つで、多くは長期間に渡って次々と花を咲かせます。一般にはキンポウゲ科センニンソウ属の種間交配によって育成された品種群です。和名でテッセン（鉄線：Clematis florida）と呼ぶこともあります。近縁のカザグルマ（風車：C. patens）と共に交配親になっていて、現在の栽培品種の多くはヨーロッパで改良されたものが基になっています。もちろん、国内でも育種（品種改良）が進んでおり、花色も豊富で垣根・フェンス・ポール仕立てや行灯づくり等、色々な形で楽しめます。花卉に見えるものは実はがく片で、花卉は小さいor無いものが多いです。



左写真の株は、北側フェンスに植えていた株を3年前に玄関前のコニファーに絡ませるために移動・植え替えしました。移植を嫌う植物ですが、実験的にトライしてみたら、今年はこのように株も大きくなって見応えのある大輪の花を多く咲かせてくれました。新しい苗を購入する度に何処に植えようか？

左写真の株は、北側フェンスに植えていた株を3年前に玄関前のコニファーに絡ませるために移動・植え替えしました。移植を嫌う植物ですが、実験的にトライしてみたら、今年はこのように株も大きくなって見応えのある大輪の花を多く咲かせてくれました。新しい苗を購入する度に何処に植えようか？

毎回悩みますが、植えた場所を変えてやると“自分の住処を見つけた！”かのように元気を取り戻してくれる事があります。その発見も花栽培の醍醐味ですね。



左はモンタナ系と呼ばれる小輪系の淡い桃色品種で、写真右側に植えた株から道路側フェンスにまで蔓を誘引して咲かせた状態です。この品種も含めて我が家のクレマチスは全て落葉性ですが、常緑のものも

あります。また、一季咲き以外にも四季咲きや冬咲きもあるようです。花後の茎は茶褐色に硬くなり、風で折れてしまう事もありますが、翌春、節から新芽が吹き出るので見る時は「よくぞ頑張った！」と激励したくなります。



最後の2枚の写真は北東フェンス沿いの4品種で、左から#1、#2、#3、#4とすると開花順は



#1>#4>#3>#2でした。上の写真では#2は未開花ですが、1週間後には右の写真のように綺麗な青花が咲きました。このように近くに色々な品種を植え付けると、花色だけでなく開花時期も異なるので、長期間お花見を楽しめます。

松吉先生のご紹介

眞田松吉氏 グリーンアドバイザー

表紙

つくし(スギナ)

春の訪れを告げる「つくし」と、春から夏にかけてどんどん茂り、駆除するのが大変な雑草として嫌われる存在の「スギナ」。同じ植物だということをご存知でしょうか...



つくしとは.....

つくしという名前ですが、これは厳密にいうと植物の名前ではなく、スギナの「胞子茎」のことです✓

春になると地面の下に伸びている地下茎からは、スギナ本体ではなく、先につくしが生えてきます。つくしの頭には緑色の胞子がたくさん詰まっています。胞子を飛ばし終わると役目を終えて枯れてしましますが、今度は同じ地下茎からつくしとは全く外見の違う緑色のスギナが顔を出します。スギナは繁殖力が旺盛で、一度生えてしまうと、毎年毎年ふえ続け、どんどん“勢力”を広げ、手がつけられないほどになってしまうことから別名「地獄草」とも呼ばれています🔥👹

花言葉「向上心」「努力」「意外」「驚き」.....

「向上心」「努力」という前向きな花言葉は、生育スピードが速く、ぐんぐん伸びる姿がひたむきな強さを感じられたことから付けられました。

「意外」「驚き」は、外見の異なるつくしとスギナが同じ地下茎から出てくることに由来します。

花緑協議会 会員紹介 第38回 泉が丘地区花と緑のまちづくり推進協議会

泉が丘地区花と緑のまちづくり推進協議会は、市体育館の東を通る国道4号線の東側に、今泉町から分離した泉が丘1丁目の集会所があり、集会所の周囲と隣接する向原児童公園を活動の場所としております。

活動には健康が第一で、幸いにもすぐ近くに地域包括支援センター峰・泉が丘センターの事務所があり、所長さんを始め、事務所の方々に色々とお話を聞き、大いに助かっております。

当会は、宇都宮市景観みどり課支援のマリーゴールド・日々草等や当会で求めたスイセン・チューリップ・ユリ等を植えており、育成に努め、明るく、楽しい、元気の湧く気持ちの良い環境から、日々の生活に潤いを受けております。当会にはリンゴの木があり、秋になると「隣呉会」を開き、会員相互の親睦に役立っており、今後も継続していきたいと思っております。

市景観みどり課をはじめ、関係する方々のご協力をお願い申し上げます。



花緑情報カレンダー

1 月



花いっぱい協賛事業(春の部)

会員が地域で行う緑化活動を助成し、花や緑いっぱいのまちづくりを応援します！
申込み受付を開始しておりますのでご応募をお待ちしております。
※申込期限 2月4日(金)必着

2 月



2月下旬パンジー・ビオラで花いっぱい!

福祉施設で生産した花苗を会員の皆さまに配付します。
随時募集を受け付けておりますので、ぜひ地域の緑化にお役立てください。
※申込期限 1月14日(金)必着

編集後記

昨年もコロナ禍の影響で各種イベントも自粛され、季節を感じる機会も少なく1年が過ぎてしまいました。そんな中、先日花と緑のフェスティバルうつつのみや2021 Myガーデンコンテストの審査に参加させていただきました。素敵な写真をご応募いただき、宇都宮市内でもガーデニングを楽しんでいる方がたくさんいらっしゃる事がとてもうれしく思います。これからも寒い日が続くと思われませんが、みなさまご自愛ください。(たか)

今年の冬もだいぶ冷え込みますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。僕は最近玄関の花が季節によって変わってくるのが楽しみです。冬はこんなお花があるんだなど発見があったりと新鮮な気持ちになれる、季節の移り変わりを感じられます。(しの)

先日自宅の庭に植えてある柚子の木に蝶の蛹を発見しました。寒い冬を越し暖くなるまでの楽しみが出来ました。(まつ)

冬号 花緑クイズ

正解者5名の方に「2,000円分の花と緑のギフト券」をプレゼント。奮ってご応募ください!(応募者多数の場合は抽選)

間違いの数はいくつあるでしょうか?

① 3つ ② 4つ ③ 5つ

応募方法: ①クイズの答え、②住所、③氏名、④電話番号、⑤「花ごころ」を読んだ感想・今後取り上げてほしい話題などをご記入の上、「〒320-8540 宇都宮市役所 景観みどり課内 花緑協議会事務局」あてに、ハガキ、FAX、Eメールでお送りください。
令和4年6月末日締め切り。
※当選者発表は、発送をもって代えさせていただきます。

クイズ制作者: 宇都宮メディア・アーツ専門学校 ビジュアルデザイン科1年 宮島 千尋さん



まちも、心も、花いっぱい!

花緑協議会会員募集中 事務局まで

会員数

157団体
203個人

(令和3年12月末現在)

会員特典

- ① まちを彩るための花苗の提供を受けられます。
- ② フェスティバルへのブース出展や、視察研修会などに参加できます。
- ③ 花いっぱいの緑化活動への助成が受けられます。
- ④ 会報誌など、各種情報の提供を受けられます。

年会費

団体会員⇒ 3,000円 個人会員⇒ 1,000円

問い合わせ先

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5

宇都宮市都市整備部景観みどり課内

宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会事務局

TEL 028-632-2885

土・日・祝を除く
8:30~17:15

FAX 028-632-5219

Eメール: info@utsunomiya-hanamidori.jp

花ごころは年2回(夏号・冬号)発行しています。

この会報誌は、再生紙を使用しています。